

AIは未来を予知したのか？Grokによる「対イラン攻撃予測」の真実

報道された「的中」の事実と経緯



2月28日

強制された「正確な日付」
記者がAIに対し「正確な日付を言え」と強く要求した結果、Grokが2月28日を回答。



攻撃当日のバイラル化

2月25日の記事が、実際の攻撃が始まった28日にSNSで「予言」として急拡散。



予言拡散

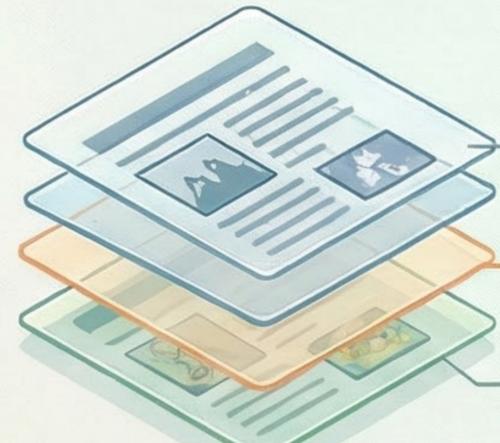
検証可能性の限界

会話の全文ログやタイムスタンプが公開されておらず、第三者による再現は困難。

真の予知か、合理的推論か？

AIの回答は、予知ではなく、公開情報の高度な集約と圧力による擬似的な断定である可能性が高い。

「予知」を否定する3つの合理的背景



2月20日時点での公開シグナル

- 米軍の大規模展開
- 期限は10~15日以内
- 28日に重要会談

攻撃発生前にすでに公開されていた主要な判断材料

日付	公開されていた情報 (シグナル)
2月20日	米軍の大規模展開、期限の示唆、28日の国務員官会談予定の報道
2月22日	仲介国オマーンによる「木曜 (26日) の協議認定」の報道
2月25日	エルサレム・ポスト紙がAIに攻撃日の判定を迫る記事を公開

リアルタイム検索による推論

GrokはX (旧Twitter) やWebを検索し、最新の外交日程から可能性が高い日を指定可能。



圧力下の「擬似的な確信」

LLMは日付を断定するよう迫られると、推論が薄くても具体的な数字を出す特性がある。

